

揚浜塩田 歴史一冊に



発行された本を手にする執筆者の
西山郷史さん 〓 珠州市飯田町で

珠州市清水町の「道の駅す
塩田村」を運営する奥能登
塩田村は、揚浜式塩田の歴史
などをつづった冊子「能登の
揚浜塩田」を発行した。

冊子はB6判、百七十六
頁。二〇一三年三月に開催さ
れた世界農業遺産記念フォー
ラム「能登塩田の歴史とこれ
から」能登揚浜塩田の魅力を語
る」に併せて刊行された冊
子を、塩田村の二十周年を記
念して文章や語句の一部を加
筆するなどして出版した。

塩田村の横道嘉弘社長（大

谷町）や民俗学に詳しい西山
郷史さん（飯田町）ら四人が執
筆。江戸時代から近代までの
能登揚浜塩田の歴史や塩田を
支えた人、塩田の作業と用具
などについて丁寧に書かれて
いる。横道社長は「全国で能
登にしかない揚浜式塩田の歴
史、文化を一人でも多くの
人に知ってほしい」と話した。

冊子は一冊千円（税別）で
「道の駅す塩田村」などで販
売する。問い合わせは、道の駅
す塩田村 〓 電0768(87)
2040 〓 へ。（近江士郎）

奥能登塩田村 20周年で冊子